

食農教育 リンゴ栽培について教えていただきました

7日、食農教育の一環で、青森でリンゴ農家をされている佐藤さんからリンゴ栽培についてのお話をうかがいました。大雪のため、来校は叶いませんでしたが、オンラインでリンゴが育つまでのお話やリンゴ農家のお仕事について聞くことができました。



授業後の感想を読むと、子供たちは、リンゴの食農教育を通して、多くの新しい発見をしたようです。これまでミカンの食農教育は受けたことがありましたが、リンゴについては初めてだったので、どのように作られるのか、どのような機械が使われるのかを知ることができました。ミカンの栽培との相違点に気付いた児童もいました。例えば、リンゴもミカンと同じように地面に白いものを敷くことや、収穫の仕方が異なることが分かりました。(リンゴの収穫には、ハサミを使いません!)

また、リンゴの形にはさまざまな種類があり、変形することもあると知って驚いていました。リンゴの木の高さや、リンゴの花がとても美しいことも印象的だったようです。

さらに、リンゴの栽培には、草刈り用の車など、様々な機械が使用されていることも興味深かったようです。草刈りロボットなどの機械が使われており、収穫には多くの人々が関わっていることを知りました。栽培には長い時間と労力が必要であることを学び、農家の方々への感謝の気持ちが生まれました。児童の中には、将来、リンゴ農家の仕事を体験してみたいという気持ちも芽生えた子もいたようです。

今回の学びを通して、リンゴについて深く知ることができ、より身近に感じられるようになりました。

佐藤さん、どうもありがとうございました。これからも、おいしいリンゴを育ててくださいね。

【裏面に子供たちの感想を掲載しています】